

第 36 期
事業報告書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

株式会社 秩父開発機構

第 36 期 事 業 報 告 書
自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日

当社は令和5年3月31日をもって第36期事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに決算等につきまして、ご報告申し上げます。

1 事業の概況

(1) 事業の経過及び成果並びに対処すべき課題

当期は事業36年目を迎え株主の皆様をはじめ関係各位のご支援を賜る中、埼玉県からの「秩父ミュージックパーク」と「埼玉県長瀬射撃場」の指定管理業務を事業の柱に据え、秩父地域の振興に寄与するため各種事業展開を進めてまいりました。

秩父ミュージックパークでは、引き続きコロナウイルス感染症対策を実施しつつ、施設管理からイベント事業まで幅広く業務を実施してまいりました。

公園管理業務においては、来園者に快適に利用していただくため、園地及び施設の維持管理、園内全般の清掃、警備などを日常業務として行い、継続中のモミジによる新名所づくりに向けた整備事業では、実生から育成したモミジ苗を、昨年に引き続き地元認定こども園の園児達と一緒に音楽堂周辺の植え込みに植栽しました。

利用者サービスとしては、インクルーシブ遊具の導入や、ピクトグラムを使用した案内板の設置など、多様化する来園者に対応した取組のほか、地域に密着した公園づくりを目指すため、市民との協働活動としてホタルの生息地域の環境保全事業なども実施しました。

情報発信としては、ホームページと SNS の活用、梅園や黄（紅）葉のイメージポスターの作製、テレビ・新聞などへの情報提供、地元ラジオ局「ちちぶエフエム」での提供番組などを通じ、幅広く公園 PR に努めました。

自主事業では、3年ぶりに、アマチュアバンドを中心とした「ロックコンサート」を実施したほか、新たな試みとして、どなたでも楽しめる「音楽療法コンサート」を開催しました。また、公園インストラクター事業では、「ホタル観賞の夕べ」「ミニ門松づくり」など、15の自然体験イベントを行い好評いただいております。飲食物の営業関連では、イチヨウ並木が見頃を迎える行楽シーズンをはじめ、イベント開催時や梅園の開花時期など公園の賑わいに合せ、キッチンカーの出店機会を増やすなど、利用者ニーズの対応と売上増加に努めました。

誘致イベントについては、「LOVE SUPREME JAZZ FESTIVAL JAPAN 2022」や「WIND PARADE '22」、「私立恵比寿中学 ちゅうおん 2022」などの野外ステージでのコンサートや、1週間にわたり「第18回日本スカウトジャンボリー・第4回埼玉キャンポリー」なども開催され、例年を上回る大規模イベントが実施されました。

このような事業展開の結果、利用者満足度においては 90.3%となり経営目標の 80%以上を達成することができました。

長瀬射撃場においては、設置目的である「射撃技能の向上と銃による事故の防止及び射撃競技の発展」の実現のため、コロナウイルス感染症対策を実施しつつ、適切な施設管理と大会の運営や自主事業を行いました。

安心安全の確保に向けた取組としては、職員及び利用者の危機管理意識の向上を図るため注意喚起の徹底を図るほか、安心して利用できる施設とするための場内整備と施設管理に努め、銃・火薬類による事故件数ゼロを継続しております。

利用状況としては、年度当初に予定されていた大会・練習会はほぼ予定通りに実施されましたが、第7波と言われるコロナ感染者が拡大した夏場には、猟友会関連の大会中

止や学生の合宿の減少などに加え、一般利用者も自粛傾向にあったため、年間利用者数は 10,609 人と前年度からは 1,639 人増加したものの、目標の 13,000 人は達成できませんでした。

自主事業では、銃所持許可の取得に必要な教習射撃と所持許可更新に係る技能講習の実施のほか、コロナ禍で 2 年間中止していた、初心者を対象とした「ビームライフル初心者講習会」を再開しております。また、今年度より新たな取り組みとして、猟銃等販売事業と利用者ニーズに対応した空気銃の空気充填サービスを開始いたしました。

その他の事業としては、埼玉県より狩猟者を対象とした「初級者研修会」開催業務を受託し、講義と実技からなる研修会を 3 回実施し、参加者からは大変好評をいただいております。

観光振興事業においては、テレビ埼玉の情報番組「マチコミ ちちぶだより」連絡協議会事務局として、番組制作に協力してまいりました。地域で活躍する人々にスポットを当てるなどの内容とし、全 8 回を放送しております。

また、地域振興活動への参画については、地域の催しが依然として自粛傾向でありましたが、芝桜の丘イベントにおける観光案内事業への協力を行っております。

令和 4 年度は秩父ミュージックパーク並びに埼玉県長瀬射撃場の両施設において、令和 5 年度から新たに 5 年間の指定管理者の選定が行われる年度でありました。

応募に際しては、これまでの実績と成果並びに反省点を検証し、これからの指定管理期間 5 年間だけでなく、その先の長期間を見据えた事業計画を作成しております。

結果として、両施設とも書類による 1 次審査とプレゼンによる 2 次審査を通過し、新たに指定管理者として指定を受けることができました。

第 3 6 期の主な事業は次のとおりです。

1 秩父ミュージックパークの指定管理業務の受託

① 公園施設の維持管理業務

- ・除草、芝生、植栽、高木・低木、林地、花壇、菖蒲田等の園地管理
- ・音楽堂・野外ステージ等の施設維持管理業務
- ・音楽堂・野外ステージの舞台照明音響業務
- ・園内清掃、警備業務、除雪作業 など全 24 項目

② 見どころ創出に向けた整備事業

- ・音楽堂周辺の植え込み、モミジ苗植栽（地元認定こども園の児童協力）
- ・せせらぎ広場においてモミジの実生採取作業の実施
- ・有害鳥獣の駆除による景観維持
- ・インスタ映えスポット整備として、ジャーマンアイリス 100 株植栽

③ 利用者サービスの提供

- ・秩父ミュージックパーク便利帳の活用
- ・ユニバーサルサービスとしての「インクルーシブ遊具」の設置
- ・ダイバーシティ対応として、ピクトグラムを使用した案内板の設置

④ 市民活動の機会充実

- ・ホタルの里周辺のゴミ拾い・除草作業（地元ネイチャークラブと協働）
- ・チューリップ 1 万本プロジェクト（地元認定こども園の児童による球根植付）
- ・犬の散歩マナーアップキャンペーン（秩父保健所との協働）

⑤ 情報発信

- ・オリジナルホームページと SNS の活用
- ・パンフレット・ポスター・チラシ作成（園内マップ、紅葉、梅園など）
- ・教育機関等と連携した広報活動（インストラクター事業の案内など）

- ・ 秩父ミュージズパーク連絡会議の運営による公園内関係団体との情報共有
- ・ メディアを通じた情報発信（新聞、テレビなどへの情報提供）
- ・ テレビ番組・映画撮影等の行為許可
- ・ ちちぶエフエム 提供番組「ミュージズパークだより」の放送
- ⑥ 自主事業
 - ・ ロックコンサート（アマチュアバンド出演）
 - ・ 音楽療法コンサート
 - ・ スタインウエイを弾いてみよう
 - ・ 第5回秩父フラフェスティバル
 - ・ インストラクター事業（ホテル観賞のタベ、ミニ門松づくりなど15事業）
- ⑦ 軽食堂ピエリアの営業
 - ・ ラーメン、カレー、うどんなどの飲食物販売
 - ・ 行楽シーズン・イベント開催時などのキッチンカーによる飲食物販売
 - ・ 携帯電話充電サービスコーナーの設置
- ⑧ 大規模イベント誘致
 - ・ 5/14-15 LOVE SUPREME JAZZ FESTIVAL JAPAN 2022 2日間6,000人
 - ・ 7/24 彩魂祭 500人
 - ・ 9/3 バグサミ 2022 1,200人
 - ・ 9/11 WIND PARADE 22 4,500人
 - ・ 9/24-25 私立恵比寿中学「ちゅうおん」2022 2日間6,000人
 - ・ 6/12 第63回 秩父宮記念ミュージズの森チャレンジロードレース大会 750人
 - ・ 8/4-9 第18回日本スカウトジャンボリー・第4回埼玉キャンポリー 1,000人
 - ・ 2/19 青葉昌幸杯第59回秩父駅伝競走大会 など

2 埼玉県長瀬射撃場の指定管理業務の受託

- ① 施設等の利用に関する業務
 - 利用者受付、予約、利用案内等
- ② 施設、設備、物品の維持管理に関する業務
 - 設備維持管理、場内清掃、電子標的の整備点検、除草・植栽管理など21項目
- ③ 大会・合宿等の誘致
 - 主な射撃大会
 - ・ 4/16-17 アジア大会・ワールドカップバクー選考会 107人
 - ・ 5/14-15 第48回全日本ライフル射撃競技選手権大会（300m） 60人
 - ・ 6/10-12 関東学生スポーツ射撃選手権春季大会 239人
 - ・ 8/25-28 第77回国民体育大会関東ブロック大会 298人
 - ・ 9/ 8-11 JOC ジュニアオリンピックカップ 333人
 - ・ 9/15-18 関東学生スポーツ射撃選手権秋季大会 312人
 - ・ 11/4-6 全日本ライフル射撃選手権大会（50mライフル）兼全日本選抜ライフル射撃競技大会（10mAR/AP） 330人
 - ・ 11/19-20 関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会 249人
- ④ 主な自主事業
 - ・ 教習射撃及び技能講習の実施 教習射撃 18人、技能講習 126人
 - ・ ビームライフル初心者講習会 50人
 - ・ 銃保管業の実施
 - ・ 装弾及び標的の販売
 - ・ Tシャツ・キーホルダーなどオリジナルグッズの販売
 - ・ エアライフル空気充填サービス
 - ・ 猟銃等販売事業

3 観光振興事業

- ① テレビ埼玉「マチコミ ちちぶだより」情報番組連絡協議会の事務局業務
 - ・秩父地域市町との連絡調整（年8回放映）
 - ・番組連絡協議会の開催 など
- ② 地域振興活動への参画
 - ・芝桜の丘イベント 会場における観光案内事業への協力

4 その他の事業

- ・秩父ミュージズパーク旧パー3ゴルフコース管理業務
- ・令和4年度初級者研修会開催業務（狩猟免許取得者を対象）
- ・埼玉県長瀬射撃場環境保全業務 等

収支では、秩父ミュージズパークにおいて例年以上に大規模イベントが開催できたことにより、事業収入は昨年と比較し増加しております。支出においては、全体的に電気料金をはじめとする光熱費、燃料費等の値上がりがありました。長瀬射撃場においては、埼玉県からエネルギー価格高騰分に対する委託料増額措置があり、赤字幅の軽減となっております。

このような結果、売上高合計2億555万4千円（前期比1千247万1千円増）、営業損失1千60万9千円（前期比859万6千円増）、経常損失922万9千円（前期比815万3千円増）、当期損失86万6千円（前期比42万5千円減）となり、利益剰余金は952万8千円となっております。

今後の課題としては、新たな指定管理期間5年間がスタートしたことで、事業計画に盛り込んだアイデアや施策を着実に遂行し、魅力ある施設運営を継続・進化させていくことにあります。また、進行中であるモミジによる観光スポット創出事業を計画的かつ着実に進め、将来的には集客策を図る中で、施設の利用率と収益の増加に繋げていくことが挙げられます。

◇ 秩父ミュージズパーク



高木剪定作業



園児によるモミジ苗植栽



インクルーシブ遊具



音楽療法コンサート



ホテル観賞の夕べ



キッチンカー営業



バグサミ 2022



ボーイスカウト 野営

◇ 埼玉県長瀬射撃場



大口径 300mバックストップ整備



小口径 50mバックストップ整備



大口径監的豪整備



除雪作業



ワールドカップパーカー選考会



JOCジュニアオリンピックカップ



ビームライフル初心者講習会



狩猟者 初級者研修会

2 会社の概況

当期末(令和5年3月31日)の会社の概況は、次のとおりであります。

(1) 主な事業内容

- ア 秩父ミュージックパークの指定管理業務の受託
(自主事業：軽食堂及び売店事業、各種イベントの実施他)
- イ 埼玉県長瀬射撃場指定管理業務の受託
(自主事業：標的・装弾販売、教習射撃及び技能講習の実施他)
- ウ ちちぶ観光情報番組の実施

(2) 株式の状況

当期末における株式の状況は次のとおりであります。

- ア 発行可能株式の総数 34,400株
- イ 発行済株式の総数 9,600株
- ウ 当期末株主総数 107名

(3) 主な大株主

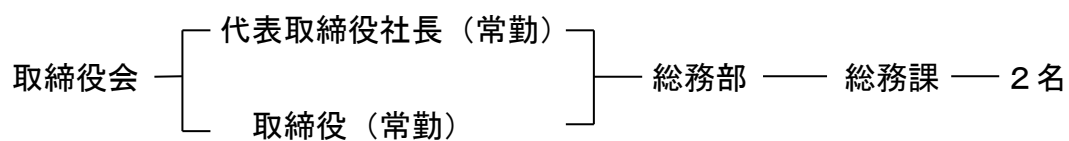
株主名	所有株式数	持株比率
埼玉県	2,460株	25.6%
西武鉄道(株)	960	10.0
秩父市	458	4.8
(株)埼玉りそな銀行	420	4.4
太平洋セメント(株)	400	4.2
西武建設(株)	300	3.1
(株)本郷会計	240	2.5
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	220	2.3
秩父鉄道(株)	200	2.1
(株)武蔵野銀行	200	2.1
小鹿野町	170	1.8
損害保険ジャパン(株)	160	1.7

他に、日本瓦斯(株)ほか94社が株主であります。

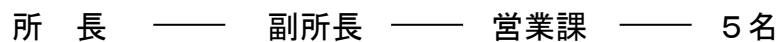
(4) 組織と従業員の状況

令和5年3月31日現在

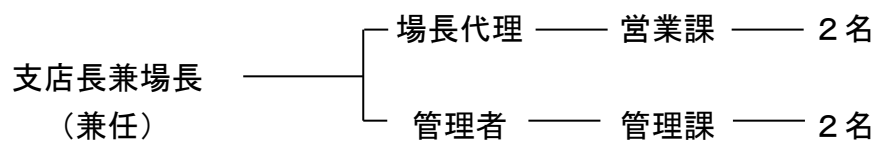
[本店]



[秩父ミュージックパーク管理事務所]



[長瀬射撃場支店]



従業員

区分	従業員数	前年比増減	平均年齢
男	6名	—	55.8
女	5名	—	46.4
計	11名	—	51.5

(5) 取締役及び監査役

令和5年3月31日現在

役職名	氏名	派遣団体等
代表取締役社長（常勤）	山口 民弥	元大滝村長・元秩父市収入役
取締役（常勤）	田代 勝三	元秩父市副市長・（一社）秩父観光協会 会長
取締役（非常勤）	大谷 隆男	秩父鉄道(株)取締役会長
取締役（非常勤）	西村 耕一	秩父商工会議所会頭
取締役（非常勤）	森 真太郎	小鹿野町長
取締役（非常勤）	北堀 篤	秩父市長
取締役（非常勤）	依田 龍也	西武レクリエーション(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	石倉 直治	(株)埼玉りそな銀行秩父支店長
取締役（非常勤）	明石 勤	秩父太平洋セメント(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	仲山 良二	埼玉県企画財政部地域経営局長
取締役（非常勤）	河原塚啓史	埼玉県秩父地域振興センター所長
監査役（非常勤）	武島 健	(株)武蔵野銀行秩父支店・横瀬支店 支店長

※在任期間順

下記の方から辞任する旨の届出があり、これに伴い登記を完了いたしました。

令和5年3月31日辞任届提出

監査役（非常勤） 宍戸 佳子 氏

貸借対照表

令和5年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]		[流動負債]	
現金及び預金	425,234	買掛金	129,736
売掛金	135,485	未払費用	8,565
未収入金	25	預り金	287
棚卸資産	3,771	賞与引当金	3,177
前払費用	53	未払法人税等	225
仮払金	275	未払事業税等	1,418
未収法人税	456	未払消費税	2,179
貸倒引当金	△10		
(流動資産合計)	(565,293)	(流動負債合計)	(145,589)
[有形固定資産]		[固定負債]	
建物付属設備	214	退職給付引当金	48,975
車両運搬具	302	(固定負債合計)	(48,975)
工具器具備品	221		
(有形固定資産合計)	(739)		
		負債の部合計	194,565
[無形固定資産]		純 資 産 の 部	
電話加入権	356	[株主資本]	
(無形固定資産合計)	(356)	資本金	480,000
		(資本金)	(480,000)
[投資その他の資産]		利益剰余金	9,528
投資有価証券	100,000	(繰越利益剰余金)	(9,528)
預託金	40		
長期繰延税金資産	17,664	(株主資本合計)	(489,528)
(投資その他の資産合計)	(117,704)		
(固定資産合計)	(118,800)	純資産の部合計	489,528
資産の部合計	684,093	負債及び純資産の部合計	684,093

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

損 益 計 算 書

自 令和 4 年 4 月 1 日
至 令和 5 年 3 月 3 1 日

単位：千円

科 目	金 額
売 上 高 売 上 原 価 (売 上 総 利 益) 販売費及び一般管理費 (営 業 損 失)	205,554 105,287 (100,267) 110,877 (10,609)
受 取 利 息 有 価 証 券 利 息 雑 収 入 貸 倒 引 当 金 戻 入 賞 与 引 当 金 戻 入 (営 業 外 収 益) 雑 損 失 (営 業 外 費 用)	16 152 614 19 594 (1,396) 16 (16)
経 常 損 失	9,229
退職給付引当金戻入 (特 別 利 益)	8,637 (8,637)
税 引 前 当 期 損 失 法 人 税 等 法 人 税 等 調 整 額 当 期 損 失	592 450 △175 866

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

株主資本等変動計算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

単位:千円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	480,000	10,395	10,395	490,395	490,395
当期変動額					
当期純損益金		△866	△866	△866	△866
当期変動額合計		△866	△866	△866	△866
当期末残高	480,000	9,528	9,528	489,528	489,528

個別注記表

自 令和 4年4月 1日
至 令和 5年3月31日

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定額法

3) 引当金の計上基準

ア 貸倒引当金 売上債権、貸付金の貸倒損失に備える為、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上する。

イ 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため支給見込額に基づき計上する。

ウ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えて、簡便法により計算された当事業年度における退職給付債務額を計上する。

4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

II 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 8, 115千円

III 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 9, 600株

IV 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

貸倒引当金	3千円
未払賞与引当金	971千円
退職給付引当金	14,999千円
未払事業税等	434千円
欠損金	1,257千円
繰延税金資産計	17,664千円

V 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 50,992円59銭

1株当たり当期純利益 △90円26銭